

# シンポジウム 原発災害・復興支援・NGO

—現場の活動を通してみえてきたもの、その成果と課題—

日時：12月17日(土)午後1:30-5:30

場所：明治学院大学白金校舎本館2301教室



## 【会場アクセス】

東京都港区白金台 1-2-37

地下鉄東京メトロ南北線/  
都営地下鉄三田線  
白金台・白金高輪駅下車徒歩  
約7分

都営地下鉄浅草線  
高輪台駅下車徒歩約7分

参加費：500円（明治学院大学生・教職員無料）

共催：〈NGOと社会〉の会／明治学院大学国際平和研究所（PRIME）

協力：FoE Japan／子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク  
（子ども福島）

「3・11」から8カ月になる今、福島第一原発の事故がもたらした被害は拡大するばかりです。

本シンポジウムでは、福島で放射能から子どもを守るための活動や脱原発運動にとりくんで来られた方、被災／被曝者支援に携わってきたNGOや脱原発市民組織の代表をパネリストに招き、「3・11」以後の活動の成果と今後に向けた課題を、具体的な活動の報告をまじえながら提起していただきます。

原発事故の被害は簡単に「収束」することはありません。福島の人々をつながり、支援し、連帯する活動も、これから先に長い道のりが待っています。

今後予想される困難を見据えながら、それを乗り越えていくために、まずは現状認識と互いの考えを共有し、具体的なアクションにつなげていきたいと思えます。

## プログラム

＜パネリストからの報告・提起＞

満田 夏花(FoE Japan)「放射能汚染対策と脱原発のとりくみ」

吉野 裕之(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク【避難・疎開・保養班】)「福島の実状と行動の訴え」

小松 豊明(シャプラニール震災救援活動担当)「いわき市での復興支援活動から見えてきたもの」

谷山 博史(日本国際ボランティアセンター＝JVC代表理事)「JVCの福島支援活動と震災後復興支援について」

＜コメント＞

猪瀬 浩平(明治学院大学国際平和研究所所員)

原田 麻以(明治学院大学国際平和研究所研究員／ココルーム東北ひとり出張所)

＜質疑応答・討論＞

＜コーディネータ＞ 藤岡美恵子(〈NGOと社会〉の会／法政大学非常勤講師)

【お申込み・お問合せ】準備のためできるだけ事前にお申込み下さい。当日参加も可能です。メールまたは FAX にて件名に「12/17 原発シンポ申込み」とご記入の上、お名前、ご所属（または学籍番号）、連絡先をお伝え下さい。

明治学院大学国際平和研究所

E-mail: prime@prime.meijigakuin.ac.jp TEL:03-5421-5652 FAX: 03-5421-5653